

夢咲かせよう 立志の丘で

平成25年10月11日
No.25

立志祭を終えて



先週末に開催された立志祭前日祭、そして立志祭は、そのテーマである「西仙 Magic～輝け、僕らの Show Time!」に表されるように、一人一人がその役を果たしました。

10月5日(土)に行われた前日祭は、午後2時10分に男装女装がスタートしました。昨年よりも可愛い女装、背が高くカッコいい男装が見られました。各部の出し物は、部活それぞれの工夫が見られ、部活ごとの個性が現れて楽しかったです。

英雄伝説は、歌、歌+ギター、楽器演奏、踊りと様々な出し物があり、今年は、バラエティにとんでいて、クオリティが高いという先生方の評価でした。3年生はもちろん2年生も頑張りました。

最後は、5人の先生方の登場、最初は引き気味の生徒も一生懸命のパフォーマンスに圧倒されて大いに盛り上がりました。午後5時に終了。ふと後ろを振り返るとすごい数の保護者の皆さんがいて驚かされました。日ごろ見ることのできない生徒の姿があちらこちらに見られた前日祭でした。

翌日、10月6日(日)に行われた立志祭本番では、生徒会執行部がステージに整列、副会長の大沼拓也さんから、立志祭スタートの挨拶が述べられました。続いて、今年から新たな演目として、阿部倫己さん、阿部真己さん、佐藤拓真さんの3人による空手演舞で始まりました。会場は空手演舞による迫力に目を奪われ、静寂の中に腕を振る音、気合いの声のみが反響しました。盛大な拍手をいただき、生徒有志による刈和野太鼓が演奏されました。立志祭の風物詩になった刈和野太鼓、はじめて見る人にとって、体中が震えてくる演奏でした。演奏に伴い、ばちを持って様々な形を見せてくれる太鼓演奏は、刈和野の大綱引きとともに、地域の宝として残したいものの一つだと思いました。和太鼓の日本文化の後を引き継いだのは、3年生の佐々木航平さんによる三味線演奏です。難曲と言われている「津軽じょんがら節」では、ばちの音と聞き慣れたメロディー、そしてすばやい左手の動きに、会場から拍手が起きました。

この後、いよいよ全校生徒によるNISHISENソーランが始まりました。

最初は、1年生。練習時間が短かったものの、大きなかけ声、精一杯の演舞でした。次は、2年生。間奏では、男子が櫓(やぐら)を、女子は自分たちの創作演舞を、それぞれが行いました。ラストは、3年生です。もう2度とこの仲間と踊ることは出来ないNISHISENソーラン、かけ声は、本校の顔にふさわしい大きなものでした。そして、メインの櫓では、男子はもちろん、女子

も挑戦。会場のあちらこちらから盛大な拍手がわき上がっていました。

興奮が波が引くように静まりかえると、英語弁論が始まりました。

鈴木里歩さん「I can do it !」

阿部倫己さん「Heart and skill together」

鈴木さんは、バレーボールの部活動で、3年生になってから怪我をしまして、練習に参加できなくなってどうしたらいいのだろう、悩む自分の姿、そしてそこから新たな道を見つけていく姿を私たちに示してくれました。

阿部さんは、先に披露してくれた「空手」について、自分がなぜ空手をやろうとしたのか、空手から学んだことは何か、についてお話ししてくれました。

どちらの英語も、聞き取りやすい気迫のこもったスピーチでした。私の隣に座っていたALTのベンジャミン先生は、二人の指導を英語科の先生方と夏休み中に一手に引き受けてくださり、スピーチする二人の姿に満足そうでした。

続いた科学部による理科研究発表では、科学部1・2年生が、「混合液からどのような結晶ができるか」「フィラメントの代用となるものはどういうものか」「カビの生えにくい条件」の3本を、仮説、実験方法、実験、考察の順でわかりやすいようにプレゼンテーションを行いました。最後は、本年度の理科研究発表会最優秀賞を受賞した3年生が「過冷却水でできる氷筍(ひょうじゅん)の形や高さの条件」をテーマに発表、実験まで披露してくれました。過冷却水とは、0度以下になっても凍らない水のことです。どうすればこれができるかの実験が最初の関門でした。最初は冷凍庫や冷蔵庫を使ったのですが、うまくいかず、クーラーボックスに氷と塩を入れて、そこにペットボトルに入った水を入れておく、という方法に変えたら、見事な過冷却水ができました。その過冷却水をロートに通して、氷の上に流し込むと、氷の柱ー氷筍ができあがります。この氷筍ができるのは、過冷却水を何度まで冷やしたときか、そして、どれくらいの高さから落としたりうまくできるのか、そして、水以外に、コーラ、カルピス、コーヒーなど不純物の入った物質だとどうか、などを私たちに提示してくれました。実際に、体育館でこの実験を見せてくれたので、普段の実験の様子がとてもよくわかりました。11月の全県大会も期



待したいと思います。

午前中最後のステージは、3年生有志による演劇「盗まれた王子」でした。

ある国の王様に赤ちゃんができました。その国では男の子が生まれると育てて、女の子が生まれると殺してしまいます。生まれた赤ちゃんは、男女の双子でした。困った乳母は、ある日森にその双子を置いたまま姿を消してしまいます。そこを通った漁師が、金の首飾りをした片方の赤ちゃん(男児でした。)を女児と勘違いして盗みます。そして、その子どもを育てます。成長した男の子は、ある日お城の池から、金の魚を盗んで両親に食べさせようとします。その金の魚がお城の池にあったものと村に知れ渡ります。そして、お城の警備員二人がその男の子を逮捕しに来ます。逮捕された男の子は、死刑の判決を受け、公開処刑されることになりました。公開処刑の日、いままさに、斧が男の子の首に振り下ろされるその瞬間、逃げた乳母が、「ちょっと待って、その子の首飾りには見覚えがある。その子は王子に違いない。」とあって、処刑を止めさせます。そして王子は王様の元に帰り、二人の養父母を引き取ります。

今田智子さんのナレーター、大道具の田口星輝さんの出ずっぱりの熱演、また、他の役の人たちも、短い時間に自分たちの個性を十分に発揮し、演劇の面白さを伝えてくれました。

昼休みの食堂は満杯、語らいの広場での屋台にも野球の試合から帰った小学生が多数いました。チャリティーバザーも列ができるほど人が並び、多目的ホールの教科展示もテレビ放映(普段の西仙北中生の活動ビデオ)があったせいか、人の山ができていました。他の会場でも、地域の方々の多数の参観をいただきました。

午後のステージは校長挨拶の後、文化部の雄、吹奏楽部による演奏です。なんとと言ってもスペシャルゲスト藤澤和弘先生によるアルトサクスの演奏「ど演歌エクスプレス」は、1950年代から70年代までを一気に披露してくれ、会場からたくさん拍手がわき起こりました。そして、最後のアンコール曲「あまちゃん」では、手拍子が起こりました。

いよいよ最後は全校生徒と地域の皆様のご協力による「大いなる秋田」の演奏です。本校の「大いなる秋田」は、石井歓先生が作曲したとおり、全曲省略せずに演奏します。およそ40分程度の演奏時間です。この間、吹奏楽演奏と合唱を最後まで、今年もやり終えることができました。

アンコールに「校歌」を歌い、生徒会長三浦拓実さんから、地域の皆様への感謝の言葉、そしてこれからもよろしくお願ひします、の言葉があり、今年度の立志祭が終わりました。

「西仙Magic～輝け、僕らのShow Time!～」実現のために、取り組んだこの3週間。やり切った全校生徒に拍手を送るとともに、支えていただいた地域の皆さんに感謝申し上げます。

マラソン・駅伝大会、なべっこ

前期最後にふさわしい、台風24号の去った翌

日、見事に晴れ上がった天気の中で、マラソン・駅伝大会を行いました。それぞれの結果をお知らせします。男子56名、女子59名。○は学年です。

◎ 男女マラソン 入賞各6名

- | | | |
|----|---------|----------|
| 1位 | 吉田諒佑さん③ | 後藤早葵さん③ |
| 2位 | 本間蒼さん② | 田村美伊さん① |
| 3位 | 佐藤圭祐さん② | 伊藤日和さん① |
| 4位 | 鈴木理公さん③ | 田村愛美さん① |
| 5位 | 齋藤勇士さん③ | 齋藤巴瑠圭さん① |
| 6位 | 星宮魁人さん③ | 田名部要さん③ |



◎ 駅伝大会 11区間 7チーム対抗

- | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 1位 | 3A | 2位 | 2C | 3位 | 1A |
| 4位 | 2B | 5位 | 3B | 6位 | 1B |
| 7位 | 2A | | | | |

- | | 3A | 2C | 1A |
|-----|---------|---------|---------|
| 1区 | 今野隼希さん | 三浦直樹さん | 佐藤汰一さん |
| 2区 | 伊藤春菜さん | 小笠原未久さん | 佐々木舞央さん |
| 3区 | 斎藤剛士さん | 加藤健斗さん | 高橋和博さん |
| 4区 | 今田智子さん | 佐々木優希さん | 熊谷末羽さん |
| 5区 | 佐藤沢哉さん | 佐藤瑞樹さん | 佐藤尚哉さん |
| 6区 | 小松瑠香さん | 進藤恵実香さん | 佐藤萌さん |
| 7区 | 小山田海都さん | 本間紗斗さん | 太田翔平さん |
| 8区 | 高橋その実さん | 後藤爽華さん | 高橋奏子さん |
| 9区 | 三浦拓実さん | 嵯峨俊樹さん | 豊峯辰也さん |
| 10区 | 鈴木菜々さん | 齋藤愛さん | 佐藤こころさん |
| 11区 | 菅原健也さん | 小笠原一志さん | 高橋大晴さん |

駅伝大会はドラマの連続でした。1区、2区、3区までが2Bが1位、4区から8区までが1Bが1位、そして9区から11区までが3Aが1位という展開でした。各学級の応援合戦も盛り上がりました。

引き続き行われたなべっこは、計画通りに満腹になるまで、自分たちの料理を味わいました。走って食べた充実の一日となりました。

前期を終えて



「創立の『思い』をつなげる更なる伝統づくり」でスタートした西仙北中学校2年目の前期も、本日で無事に終えることができました。

前期は、学校生活で最大の行事である運動部の中学校総合体育大会、特設部で奮闘した駅伝大会、文化部では吹奏楽コンクールに、理科研究発表会、統計コンクール、そして先週行われた全校生徒が一丸となった立志祭、それに続く駅伝マラソン大会が行われました。これらに取り組んだ過程と結果は、それぞれ地域の皆さんに感動を与えるものでした。自分が何であるのか、自分が今何をしなければいけないのか、そのことを仲間と一緒に成し遂げた前期の活動だったと思います。

後期も前期に続いて、生徒一人一人の自己実現に向かって教職員が一致団結して支援していく所存でありますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。